

## 「学社一体」について

### ◆趣旨

- ・「立川市第5次生涯学習推進計画」で示された「学社融合」という生涯学習の本旨をさらに発展させ、立川市独自の生涯学習推進理論として、今後根幹に据えることが目指されているのが「学社一体」の考え方である。「学社融合」をさらに発展させる形で、より学校教育と社会教育を一体化させさせるものとして「学社一体」を推進しようとしている。
- ・「学社一体」は、学校教育と生涯学習・社会教育を文字通り“一体化”させることを意味するものではなく、それぞれの役割分担を前提とした上で、そこから一歩進んで、学習の場や活動など両者の要素を部分的に重ね合わせながら、一体となって教育に取り組もうという“より一層の連携”の考え方を表現したものである。
- ・学校を拠点として地域と学校が連携しながら子どもを育てていくという立川市の方針に基づいて、コミュニティスクールや地域学校協働本部事業、学校支援ボランティア事業などの「学社一体」的事業に既に取り組んでいる。

### ◆目的

「学校を核とした地域づくり」

### ◆目標

学校教育と社会教育が“協力できる体制”を構築する

### ◆手段

- ・いま行われている「学校教育と社会教育の連携の取り組み」をより強化する  
(例：地域学校協働本部事業、学校支援ボランティア事業など)
- ・効率的に連携するための「繋がり」をもうける  
(例：地域学習館関係者が学校運営協議会委員になり、学校教育とのパイプ役を担う)

立川市の  
現状

社会教育の目標

学校教育の目標

別々の  
アプローチ

把握

地域  
人材

社会教育

壁

学校教育

コミュニティスクール  
の枠組みでリーチ

「学社一体」  
のイメージ

社会教育の目標

学校教育の目標

一体的な  
アプローチ

把握

地域  
人材

社会教育

相談

学校教育

社会教育が窓口となり  
地域人材とマッチング

